



たっち

平成18年 (2006年) 6/10
年2回発行

第7号

編集・発行/立川市教育委員会

〒190-0022 立川市錦町3-2-26

☎042(523)2111(市役所代表)

◀立川市ホームページ▶

http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/

教育だよりの「たっち」は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

子どもの安全対策やパトロールを実施しています

学校と地域の協力で

子どもたちの安全を

最近の子どもたちを取り巻く状況は、新聞・ニュース番組などで報道されているとおり、連れ去り事件等、子どもたちが被害者になる事件が続発しています。このような事件から子どもたちを守るためには、学校・家庭・地域・関係機関の協力が何より重要となってきます。

学校では

監視カメラの設置

各学校の建物等に設置し、不審者の侵入に対して常に監視しています。

非常通報体制(学校110番)

小・中学校全校に監視カメラに直接通報する非常通報装置を設置しています。

催涙ガス付き警棒

小学校20校及び中学校9校全校に備えています。

防犯ブザーの貸与

平成16年度から貸与を実施し始め、現在は全児童・生徒に貸与済みです。また、小中学校の職員に対しても配布済みです。

校門の開閉の徹底

不審者の侵入対策として実施しています。

学校による安全指導

立川警察署のご協力をいただき全校でセーフティ教室を開催するなど、学校及び日常生活における安全の確保などの方法について指導しています。

その他、各学校の安全管理について地域関係団体との会議など、地域との連携を大切にして、日々協力的体制の充実に努めています。



地域安全マップについて

小学校の全家庭には3月中旬に配布し、新1年生には入学時に、中学校は作成中です。

この安全マップは、地域の実情により暗い道等の危険箇所、自動車等による交通の危険箇所などを、学校ごとに子どもたちや地域の方向調査して作成しています。

また、各家庭でこの安全マップを見ながら、危険箇所を確認していただき、注意箇所を追加しながら独自の安全マップとしてご利用いただければ、さらに安全が確かなものになりますので、ご活用ください。

地域安全マップ作成の一番重要なことは、子どもたちが自分の力で危険箇所を想像でき、日常生活のなかで注意できるようになることです。そのためには、作成段階から子どもたちも参加し、地域の方々と協働で作ることにより、地域の安全意識の向上も図れることです。

子どもたちが、自力で危険回避能力を身につけられるよう、皆さまのご協力をお願いします。

地域では

市では、地域の協力を得て子どもたちの安全を守るため、多くの協力団体に呼びかけ、見守りネットワークが作られてきました。

あいあいパトロール隊

自治会・地元商店街の有志による安全安心まちづくりの一環として、下校時に子どもたちの安全のため、地域パトロールを実施しています。

シルバー人材センター(地域班)

小学生下校時の際に、シルバー人材センター地域班の方々が、オレンジ色のベストに身を固め、子どもたちを見守るため、会員六百名以上がボランティアで参加しています。現在、17校では毎日、2校では部分実施されています。

さわやかあいさつ員

青少年健全育成地区委員会のさわやかあいさつ員の皆さまが、登下校する児童にあいさつを掛け、学校・地域が一体となって見守っています。

その他のネットワーク

P.T.Aによる地域パトロールや市職員・N.T.T・東京電力・東京



ガス(安全安心のまちづくり啓発協力事業者)の日常業務の中で行う見守りやパトロール等、子どもたちの安全のため多様な取り組みが実施されています。

地域から子どもたちの安全と安心を守る体制

最近の状況は残念ながら全国的に凶悪な事件が続き、身近に不審者が子どもたちを狙っているとと思われる情報が寄せられるなど、安全と安心を守る体制を一層強めていく必要があります。

そのためには、常に学校・家庭・地域が協力しあつて、子どもたちを見守っている状態を作ることが、何よりも有効で確実な方法です。他人事とは思わず皆さまが関心を持つことで見守りをお願いします。

日常生活すること

児童・生徒の皆さんは

これからは季節的に明るい時間帯が続きますが、5時15分のチャ

学校が抱える問題に対して、今、社会がなすべきこと

立川市社会教育委員の会議からの緊急提言

近年、社会構造や地域社会が大きく変化し、人間関係の希薄化や社会性の欠如、規範意識の低下などが大きな社会問題となつています。こうした変化は、学校教育に深刻な問題を引き起こしています。

こうした状況を憂慮し、このたび本市の社会教育委員の会議は、学校に対する社会の支援に関する四つの方策を教育委員会に緊急提言しました。

子どもの安全・安心における

学校支援策

①親に対しては、わが子を他人まかせにせず、「子どもを守る第一歩はわが家から」との意識を高め、繰り返し安全指導をすること、②学校に対しては、セーフティ教室を充実すること、③地域住民に対しては、「地域の子どもは地域で守



イムが鳴ったら家に帰りましょう。万一危険を感じた時は、*防犯ブザーを鳴らしすぐに逃げ

*子ども110番の家、コンビニなどのお店、近くの大人に助けを求め

*警察へ電話をするようお願いす

また、知らない人が小さな子に話し掛けているのを見たときは、「大丈夫？」と一言、話かけましょう。

中学生の皆さんは学校から帰るとき、「自分も地域の安全を守る

一員だ」という意識で小学生を見守ってください。

保護者の皆さまは

他のお子さんについても常に見守り、少しでも不審に思った時は進んで確かめてください。また、万一小子さんが不審者に出会ったような時は、

*すぐに学校へ連絡してください。*必ず110番してください。

これは地域の情報ネットワークの発信として安全上、大変重要です。

市民の方々は

地域安全マップは、多くの市民が地域の安全に関心を持ってもらえるように作成されています。子どもたちが危険な場所に一人で行くことがないように、声を掛け合ってください。

見知らぬ人に不審を感じたときは、勇気をだして子どもに声を掛けるようにしてください。

園学務課・内線337

り育てる」というコミュニケーションをより深めることなどを提言。親の家庭教育や学校の教育活動を支えるP.T.Aの振興策

親が、子どもの心の居場所が家庭にあると自覚をもち、しつけを通じて基本的な生活習慣を身につけさせるには、家庭の教育力の充実が必要。そのためには、学校と家庭とのパイプ役であるP.T.Aの役割が特に重要で、P.T.Aに活動の活性化を呼びかけるとともに、行政に対して、学校への「家庭教育支援アドバイザー」の配置とP.T.Aへの支援施策を提言。

中学校部活動における

学校支援策

部活動に対する中学生の意識は、興味・関心はもとより参加意識も高いにもかかわらず、指導にあたる

る教員の不足により、その期待に応えられない状況に対し、①部活動に対する地域ボランティアの支援体制の確立、②顧問を教員以外の者にも委嘱できるような指導システムとの確立、③近隣の市や企業とも連携して立川独自の部活動イベントを実施することなどを提言

市民交流大学における

学校支援策

市民交流大学(構想中)の中で、学校支援コースを設け、学校支援に関する基本的な知識や指導技術、また子どもとの接し方などの講座を開講し、学校支援ボランティアを広く育成するとともに、子ども対象の講座も開催し、学校を支援することを提言。

園学務課・内線343

凡例 ● 申●申し込み ● 問●問い合わせ

「確かな力 やさしい心 個を輝かせ 社会のために」 子どもたちの教育の充実を目指して

～平成18年度教育研究発表会の紹介～ 市民の皆さまもぜひご参加下さい



市民交流大学構想実現に向けて

市では、市民交流大学構想の実現に向け、地域説明会参加者へのアンケートとともに、市民ワークショップを開催して市民のご意見をいただきました。今回、その概要を報告いたします。

●地域説明会アンケートの概要
このアンケートは、市が昨年10月29日から12月3日まで市内6カ所の公民館会場で実施した市民交流大学構想の地域説明会参加者に対するアンケートの結果です。アンケート結果の概要は次の通りです。
【調査の概要】▶対象▶地域説明会参加者108人▶方法▶郵送方式
▶期間▶平成17年12月22日～平成18年1月13日▶回答数▶59(回収率54.6%)
●説明会参加にあたって関心があつたこと、「これからの生涯学習や社会教育」「施設予約・減免」



障害の有無にかかわらず 特別な教育的ニーズに 見える体制づくり

第二小学校
(平成19年1月26日発表)

文部科学省は、障害児教育を「特殊教育から特別支援教育へと大きく転換し、軽度発達障害児もフォローした教育制度を作ろう」としています。しかし、通常の学級に通う子どもの中にも特別な教育的ニーズがあります。二小では、そのような児童も含め、障害の有無にかかわらず、特別な教育的支援が必要な児童に対し、適切な支援を行っているような教育体制づくりを目指し、研究を進めています。



英語を通して、世界の人と 友達になろう

第八小学校
(平成19年1月25日発表)

「自分に自信をもち、楽しみながら人とかわるることのできる児童」の育成を目指し、本年度は、英語活動の研究を行います。子どもたちが、「英語の楽しさ」に對する体験をすることで、「英語に対する興味・関心をもつ」「異なる言葉に触れることで、「世界を知る」「自分の話した英語が相手に伝わった」という達成感を得ることで、自分に自信をもつ」ということをねらいとし、研究を進めています。



よく考えて進んで学習する子 を目指して

大山小学校
(平成18年12月1日発表)

本校では、子どもたち一人一人に生きる力として、「学ぶ力」「課題を見つけて解決する力」「コミュニケーション能力」を身に付けることが大切だと考え、人と社会とのかわり合い、自然との触れ合いを重視しています。校外研究では、教師の授業力を高め、国語科の基礎基本を追求し、「話す」「聞く」を中心として、子どもたち一人一人の姿が輝くことを目指し、研究を進めています。



個々をさらに輝かせて

新生小学校
(平成18年11月30日発表)

新生小第3回研究発表会は、「共に学び、一人一人が輝く児童の育成」をテーマに各学級が国語と体育の2時間を公開します。国語では「書く力」、体育では運動技能や態度を向上させる授業を展開します。見どころは、読み合う、書き合う、見合う、「合いの学習」、そして、学びの成果を明らかにする「評価活動」にあります。講演は、茅ヶ崎市学校教育推進者の先生による「新しい学校づくり」です。



心も体も元氣な子の育成 食育を通して

第十小学校
(平成18年11月2日発表)

十小では、望ましい習慣を身に付けることで心も体も健康な児童を育て、学力の基礎を支えています。うと3年間研究を続けてきました。昨年度からは、食習慣をポイントに研究を進めています。栽培や調理などの体験を通して、食への関心が高まり、給食の残量が少なくなってきました。今年度も地域や保護者のご協力を得て、指導を工夫しながら健康づくりを進めています。



自ら学び自ら考える児童の育成 読書を通して

柏小学校
(平成18年10月13日発表)

柏小は読書活動推進校として、「読む力を育てることを通じて、書く力・話す力・考える力を伸ばしたい」と考えています。本校の研究の特色は、読書活動を「文学読書」「情報読書」「読書の生活化」の三つの視点から活性化しようとしていることです。本年度は説明会の読み取りについて指導法を工夫するとともに、国語の日常化、読書経験の拡大を図ります。



授業力向上をめざす OJTの進め方

南砂小学校
(平成19年2月27日発表)

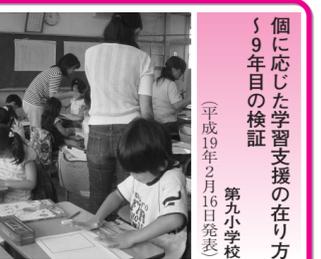
本校では、今後、若手教員の増加が予想されています。そこで、経験豊かな教員と若手教員が組織的にかわり、児童にとって「わかる授業」をもっと学習したくなる授業を実現するために相互研鑽する時間(OJT)を計画的、効率的に実践する研究を進めています。若手教員のみならず、ベテラン教員の授業力や指導力向上も期待される研究です。



情報を活用して生き生きと 学ぶ児童の育成

幸小学校
(平成19年2月23日発表)

本校は、「平成17・18年度立川市教育委員会IT教育推進校」として研究に取り組んでいます。昨年度の実践の結果、子どもたちは習得した技能を生かし、伝えたいことを効果的に表現できるようになり、情報発信に責任をもつようになりました。今年度は、人とのかわりを大切にしたITの効果的活用と情報の見極めや相手への思いやれる情報発信などを更に学習していきます。



個に応じた学習支援の在り方 9年目の検証

第九小学校
(平成19年2月16日発表)

九小では、9年前から保護者・地域の方々に協力を仰ぎ、学習支援をしていただいています。写真は、1年生が初めて本の紹介文を書くときの授業の様子です。支援者が児童に寄り添うことで、子どもたちは抵抗なく学習に取り組むことができました。今年度は9年間の支援の在り方を振り返り、児童がより学習内容を理解し意欲を持つ学習支援になるよう、研究を進めています。



自ら考え、自ら学ぶ力の育成 考える力を伸ばす指導の工夫

けやき台小学校
(平成19年2月9日発表)

めざす児童像は、「輝くひとみ笑顔あふれるけやき台の子」です。このため学校の特色として、「共感、確かな学び、連携」をキーワードとして実践に取り組んでいます。21世紀は自分で考えることが求められる時代です。そこで、「思考力」を研究課題とし、学年の発達段階に合わせて「考える力」を引き出し、子どもたちの思考力を伸ばす授業づくりを進めています。



豊かな心をもった 子どもの育成

第六小学校
(平成19年2月2日発表)

六小では、平成17・18年度にわたり、東京都教育委員会人権尊重教育推進校として研究をすすめています。「豊かな心」とは、「人権意識の基礎」である自分の大切さとともに他人の大切さを認めることのできる心であると考えています。主題達成のためのキーワードとして、「人とのかわり」「振り返る活動」を本校の特色として全教育活動で研究を進めています。



豊かな心を通じた 思いやりある子どもの育成

松中小学校
(平成19年2月1日発表)

今年度、本校に通級学級「はらっぱ」を開設しました。「はらっぱ」は、集団の中でうまく行動できない子に、必要な支援を行う学級です。本校は、特別支援教育の指導内容や手法を積極的に取り入れ、「話すこと・聞くこと」を中心にコミュニケーション力の伸長をねらいとして、どの児童も意欲的に取り組めるような国語科の授業づくりを追究します。

方が多いこともわかりました。

■市民ワークショップの概要
市民交流大学構想の具体化に向けて開催した市民ワークショップ討議結果のお知らせです。各回の概要は下表の通りです。地域説明会での質疑応答概要や参加者アンケート結果、市民ワークショップのくわしい内容は、生涯学習課、公民館、図書館で公開しているほか、市ホームページ(アドレスは1面タイトル右)でもご覧になります。

■今後の予定
この考えは、構想の具体化に向けた市の考えを明らかにしながら、市民参加組織の市民推進委員会準備委員・市民交流大学名称の公募などを進めていく予定です。また、地域懇話会等も開催し、実現に向けての意見交換なども予定されています。なお、公募等のご案内は、今後の市の広報でお知らせいたします。

生涯学習課(528) 681

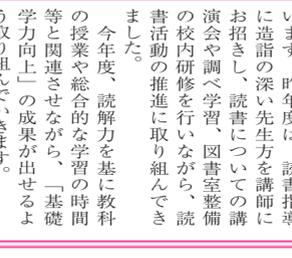
回	テーマ	検討内容	解決策等
第1回(1/14)	活動の線か後の見えた生涯学習	▶高齢者の力の活用方法 ▶若年層対象への生涯学習 ▶地域性を生かした生涯学習 ▶生涯学習事業実績の検討など	●高齢者の知識・技術を伝える講座の実施 ●子どもが好むカリキュラムの実施 ●小中学生や青少年を対象とした生涯学習 ●地域文化の伝承など ●地域性を生かした学習の実施 ●施設運営への市民参加 ●市民グループ活動の継続など
第2回(2/18)	生涯学習の経験や術を分かちあう	▶ボランティア活動の条件整備 ▶生涯学習をリードする人材育成 ▶生涯学習サークル活動成果を市民に生かす ▶理もれた市民人材発掘 ▶「楽しい」を楽しく広げること	●活動条件設定(活動費、組織のルール化等) ●市民リーダー制度の活用 ●市民交流の促進 ●人材審査会の組織化 ●地域窓口の形成 ●含めた人材ネットワークの形成 ●活動発表の場づくり ●人材選定条件・ボランティア条件整備など
第3回(3/18)	市民交流の場としての市民交流大学	▶交流の場としての市民交流大学 ▶開かれた市民交流大学 ▶ソフトは市民 ▶地域人材活用など	●各世代が集える地域学習館 ●偏らない企画 ●企画委員は公募 ●組織と運営の透明性 ●企画・運営は市民 ●市民交流の活用 ●効率性だけではない講座 ●身近で、ニーズにあった学習 ●地域人材の活用 ●市民主体で行政は支援など

「言語障害学級」と 「情緒障害学級」の増設

第七小学校に言語障害学級(こたばの教室)が、松中小学校に情緒障害学級(はらっぱ学級)が4月1日に新設されました。言語障害学級は、けやき台小学校に「きこえことばの教室」が、情緒障害学級は、第二小学校に「あけぼの学級」が設置されています。また、通級児童の増加に対応するため、また、通級に時間がかかるなどの不便を解消するため、新たに学級を設置したものです。これにより、指導の時間の確保や通学時間の短縮がさらにできることになりました。なお、これらの学級は通級指導学級で、指導が受けられる時間は、週2日、8時間以内とされています。

立川第八中学校
(平成18年10月11日発表)

本校では、「命を大切に育む心」を育て、それを基盤に、自分を大切に、思いやりをもち、人を大切にする心を育てたいと考えています。そこで、平成17・18年度の東京都教育委員会人権尊重教育推進校と立川市教育委員会研究協力校の指定を受け、「命を大事」に取り組んでいます。「人を大事」にする心を育て、人権尊重の精神を養い、偏見や差別意識の解消に努める生徒を目指し、研究を進めています。



読書活動を通じ、基礎学力向上 読んだ本の数だけ心が育つ

立川第六中学校
(平成19年2月21日発表)

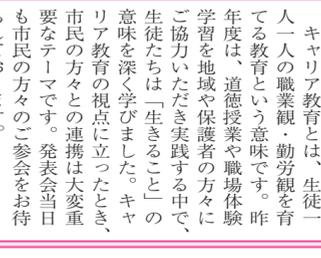
六中では、朝の時間を工夫して朝読書の時間を確保しています。昨年度は、読書指導に造詣の深い先生方を講師にお招きし、読書についての講演会や調べ学習、図書室整備の校内研修を行いながら、読書活動の推進に取り組んできました。今年度、読解力を基に教科書の授業や総合的な学習の時間等と関連させながら、「基礎学力向上」の成果を出せるよう取り組んでいます。



キャリア教育を推進 キャリア教育の推進

立川第四中学校
(平成18年2月14日発表)

キャリア教育とは、生徒一人一人の職業観・勤労観を育てる教育という意味です。昨年度は、道徳授業や職場体験学習を地域や保護者の方々に協力いただき実践する中で、生徒たちは「生きること」の意味を深く学びました。キャリア教育の視点に立ったとき、市民の方々と連携は大変重要なテーマです。発表会当日も市民の方々のご参加をお待ちしております。



命を大切に育む心 立川第八中学校

本校では、「命を大切に育む心」を育て、それを基盤に、自分を大切に、思いやりをもち、人を大切にする心を育てたいと考えています。そこで、平成17・18年度の東京都教育委員会人権尊重教育推進校と立川市教育委員会研究協力校の指定を受け、「命を大事」に取り組んでいます。「人を大事」にする心を育て、人権尊重の精神を養い、偏見や差別意識の解消に努める生徒を目指し、研究を進めています。

月	日	学校	行事名称
1	1	西砂小	授業公開
1	2	新砂小	授業公開
1	3	三好小	授業公開
1	4	松小	授業公開
1	5	西砂小	授業公開
1	6	松小	授業公開
1	7	西砂小	授業公開
1	8	松小	授業公開
1	9	西砂小	授業公開
1	10	松小	授業公開
1	11	西砂小	授業公開
1	12	松小	授業公開
1	13	西砂小	授業公開
1	14	松小	授業公開
1	15	西砂小	授業公開
1	16	松小	授業公開
1	17	西砂小	授業公開
1	18	松小	授業公開
1	19	西砂小	授業公開
1	20	松小	授業公開
1	21	西砂小	授業公開
1	22	松小	授業公開
1	23	西砂小	授業公開
1	24	松小	授業公開
1	25	西砂小	授業公開
1	26	松小	授業公開
1	27	西砂小	授業公開
1	28	松小	授業公開
1	29	西砂小	授業公開
1	30	松小	授業公開
2	1	西砂小	授業公開
2	2	松小	授業公開
2	3	西砂小	授業公開
2	4	松小	授業公開
2	5	西砂小	授業公開
2	6	松小	授業公開
2	7	西砂小	授業公開
2	8	松小	授業公開
2	9	西砂小	授業公開
2	10	松小	授業公開
2	11	西砂小	授業公開
2	12	松小	授業公開
2	13	西砂小	授業公開
2	14	松小	授業公開
2	15	西砂小	授業公開
2	16	松小	授業公開
2	17	西砂小	授業公開
2	18	松小	授業公開
2	19	西砂小	授業公開
2	20	松小	授業公開
2	21	西砂小	授業公開
2	22	松小	授業公開
2	23	西砂小	授業公開
2	24	松小	授業公開
2	25	西砂小	授業公開
2	26	松小	授業公開
2	27	西砂小	授業公開
2	28	松小	授業公開
2	29	西砂小	授業公開
2	30	松小	授業公開
3	1	西砂小	授業公開
3	2	松小	授業公開
3	3	西砂小	授業公開
3	4	松小	授業公開
3	5	西砂小	授業公開
3	6	松小	授業公開
3	7	西砂小	授業公開
3	8	松小	授業公開
3	9	西砂小	授業公開
3	10	松小	授業公開
3	11	西砂小	授業公開
3	12	松小	授業公開
3	13	西砂小	授業公開
3	14	松小	授業公開
3	15	西砂小	授業公開
3	16	松小	授業公開
3	17	西砂小	授業公開
3	18	松小	授業公開
3	19	西砂小	授業公開
3	20	松小	授業公開
3	21	西砂小	授業公開
3	22	松小	授業公開
3	23	西砂小	授業公開
3	24	松小	授業公開
3	25	西砂小	授業公開
3	26	松小	授業公開
3	27	西砂小	授業公開
3	28	松小	授業公開
3	29	西砂小	授業公開
3	30	松小	授業公開
4	1	西砂小	授業公開
4	2	松小	授業公開
4	3	西砂小	授業公開
4	4	松小	授業公開
4	5	西砂小	授業公開
4	6	松小	授業公開
4	7	西砂小	授業公開
4	8	松小	授業公開
4	9	西砂小	授業公開
4	10	松小	授業公開
4	11	西砂小	授業公開
4	12	松小	授業公開
4	13	西砂小	授業公開
4	14	松小	授業公開
4	15	西砂小	授業公開
4	16	松小	授業公開
4	17	西砂小	授業公開
4	18	松小	授業公開
4	19	西砂小	授業公開
4	20	松小	授業公開
4	21	西砂小	授業公開
4	22	松小	授業公開
4	23	西砂小	授業公開
4	24	松小	授業公開
4	25	西砂小	授業公開
4	26	松小	授業公開
4	27	西砂小	授業公開
4	28	松小	授業公開
4	29	西砂小	授業公開
4	30	松小	授業公開

学校の公開日程等

*市民の方も学校を参観できます。時間や内容等の詳細は、各学校にお問い合わせ下さい。

「言語障害学級」(こたばの教室)
☎(527) 3627
「情緒障害学級」(はらっぱ学級)
☎(560) 5361
・教育相談室、内線422

公民館から

市民交流大学(仮称)パイロット事業のお知らせ

公民館では、平成18年度、全6館で実施する地域活性化講座と、中央公民館で実施する市民交流大学セミナーを、企画段階から市民が参加する「市民協働講座」とすることとし、準備をすすめています。これらの講座を、19年度開設予定の市民交流大学(仮称)のパイロット事業と位置づけ、市民のみならずと一緒に企画・運営するなかで得られた経験や蓄積を、市民交流大学の具体化に活かしていきたいと考えています。

市民大学セミナー

中央公民館では、十数年前から、学術的・文化的に質の高い教育講座をモットーに、市民大学セミナーを開催してきました。多摩地域の大学、研究機関の助力も得ながら、歴史、文学、音楽、美術などの分野で、良質の学習機会を提供し、高い評価をいただけてきました。

本年度は、この市民大学セミナーを職員と一緒に企画する企画員を、17年度に市で実施した「生涯学習人材育成研修」の参加者から募集し、実施することとしました。

大学・研究機関の集積度では全国一といわれる多摩地域の特性を活かした、質の高い講座の開催が期待されます。

中央公民館(524)27

図書館探検 ⑥ ヤングアダルトとは

「知る」 日常の学習や修学旅行の事前学習の手助けとなる本。
「創る」楽しむ」 料理、手芸、音楽やスポーツ、ファッションなどYAの関心が高い本。
「読む」 古典的名作や、現代の作品でYAの共感が得られる本。
「文庫」 一般の文庫のほかYA向け文庫。
「マンガ」雑誌」 YAを対象とした中で、人気のあるものなど。

皆さんは「ヤングアダルト」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。和製英語のようにも思えますが、アメリカの公立図書館で使われ始めたれっきとした英語で、13、18歳の主に中高生を指したことです。

図書館では、一般と児童という枠組みではカバーしきれない層のためにヤングアダルト(YA)サービスを行っています。

中央図書館では、三階の一角にYAコーナーをつくり、低めの本棚やユニークな形のテーブルを配するなど親しみやすい空間で本を選べるようにしています。

一般の本とは違う独自の分類をつけて、次のような目的別に本を配置しています。「生きる」 友達や家族のこと、自分の将来、心や体に関する本。

中央図書館(528)68

学校施設の耐震補強工事

平成16年度に策定した学校舎耐震化推進計画に基づき、17年度から小・中学校の校舎の耐震補強工事を実施しています。18年度は、二小・七小・けやき台小・松中小・二中の工事を予定しています。二中は、2か年で19年度も工事を行う予定です。また、八小と五中は17年度から引き続き工事を実施します。

なお、耐震補強工事は夏休みを中心に重点的に実施し、騒音やほこりには十分配慮を行っていきます。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

教育部総務課 内線334

食教育事業の推進

学校給食課では、学校給食を基盤とした「食教育事業」を重要事業と位置付けています。学校栄養士が学級担任や食に関連した教科担任と連携し、児童生徒自らが生きる力を育み、食べることの楽しさ、大切さを身につけることを目的としています。

また、食教育事業推進検討委員会を設置し、年間実施計画の作成や進捗具合の検証などを行ってまいりました。今年度は、広く意見を求めるため、検討委員会の委員に、食に関連する各教科の教諭を加え、本格実施に向けて、支援指導を進めていく予定です。

学校給食課 内線249

立川の歴史と文化財 ⑦ 立川氏館跡

柴崎町にある普濟寺の境内東側に残る土塁は、現在の立川市域を中心に活躍した中世鎌倉時代の武士団、立川氏の居館と考えられており、境内一帯は東京都指定史跡となっています。中世の武士団は、近世に見られるような形態の築城はせず、自らの館の周囲に堀をめぐらし、その掘った土で土塁を築くことにより外敵の侵入を防いでいました。普濟寺に現存する土塁はその頃の土塁の一部が残ったものと考えられています。

土塁の外側の堀跡は、過去の発掘調査によりその存在が確認されていますが、土塁が囲っていた範囲全体と、中世立川氏の館そのものがどのあたりに建っていたかは未だに不明です。立川氏の活躍は鎌倉時代の記録書「吾妻鏡」の中に記述が残されていますが、その後は没落と繁栄を繰り返しました。安土桃山時代には、再び立川氏が普濟寺付近で活躍していましたが、最後は豊臣勢により滅ぼされてしまいました。



これら立川氏が全て同じ一族であったかどうかは定かではありませんが、各時代に、昔から伝わる地域の呼称「立河郷」から名を付けた武士団が活躍していたことは確かです。

「知る」 日常の学習や修学旅行の事前学習の手助けとなる本。
「創る」楽しむ」 料理、手芸、音楽やスポーツ、ファッションなどYAの関心が高い本。
「読む」 古典的名作や、現代の作品でYAの共感が得られる本。
「文庫」 一般の文庫のほかYA向け文庫。
「マンガ」雑誌」 YAを対象とした中で、人気のあるものなど。

「知る」 日常の学習や修学旅行の事前学習の手助けとなる本。
「創る」楽しむ」 料理、手芸、音楽やスポーツ、ファッションなどYAの関心が高い本。
「読む」 古典的名作や、現代の作品でYAの共感が得られる本。
「文庫」 一般の文庫のほかYA向け文庫。
「マンガ」雑誌」 YAを対象とした中で、人気のあるものなど。

錦町庭球場・フットサル場 4月1日オープン

立川公園内に新たな運動施設「錦町庭球場・フットサル場」がオープンしました。多摩川緑地の多摩川沿いにあり、柴崎市民体育館も近い立地条件です。近年のフットサル場の新設に対する強い要望に応え、市内初の「庭球場兼フットサル場」であり、ナイター設備のついた稼働率の高いオムニコート(砂入り人口芝)仕様です。どうぞご利用ください。

①施設の概要

*住所 錦町5丁目20番

*電話 (527)9321

*施設内容

テニスコート4面
フットサル場2面
ナイター設備あり
駐車場約70台

②利用方法

利用には、立川市体育施設予約サービスへの登録が必要です。

庭球場は個人登録、フットサル場は団体登録となります。

庭球場とフットサル場の兼用施設のため利用日の切り替えがあります。

③利用時間帯

夏時間(3月~11月)	冬時間(12月~2月)	備考
9:00~11:00	9:00~11:00	庭球場・フットサル場共通 冬時間はナイターなし
11:00~13:00	11:00~13:00	
13:00~15:00	13:00~15:00	
15:00~17:00	15:00~17:00	
17:00~19:00		
19:00~21:00		

④施設使用料

施設名	利用対象	使用料	夜間照明料(使用料に加算)
錦町庭球場	市内	800円	17時~19時 700円
			19時~21時 1,400円
	市外	1,600円	17時~19時 1,400円
			19時~21時 2,800円
錦町フットサル場	市内	1,600円	17時~19時 1,400円
			19時~21時 2,800円
	市外	3,200円	17時~19時 2,800円
			19時~21時 5,600円

「知る」 日常の学習や修学旅行の事前学習の手助けとなる本。
「創る」楽しむ」 料理、手芸、音楽やスポーツ、ファッションなどYAの関心が高い本。
「読む」 古典的名作や、現代の作品でYAの共感が得られる本。
「文庫」 一般の文庫のほかYA向け文庫。
「マンガ」雑誌」 YAを対象とした中で、人気のあるものなど。

「知る」 日常の学習や修学旅行の事前学習の手助けとなる本。
「創る」楽しむ」 料理、手芸、音楽やスポーツ、ファッションなどYAの関心が高い本。
「読む」 古典的名作や、現代の作品でYAの共感が得られる本。
「文庫」 一般の文庫のほかYA向け文庫。
「マンガ」雑誌」 YAを対象とした中で、人気のあるものなど。

「知る」 日常の学習や修学旅行の事前学習の手助けとなる本。
「創る」楽しむ」 料理、手芸、音楽やスポーツ、ファッションなどYAの関心が高い本。
「読む」 古典的名作や、現代の作品でYAの共感が得られる本。
「文庫」 一般の文庫のほかYA向け文庫。
「マンガ」雑誌」 YAを対象とした中で、人気のあるものなど。

「知る」 日常の学習や修学旅行の事前学習の手助けとなる本。
「創る」楽しむ」 料理、手芸、音楽やスポーツ、ファッションなどYAの関心が高い本。
「読む」 古典的名作や、現代の作品でYAの共感が得られる本。
「文庫」 一般の文庫のほかYA向け文庫。
「マンガ」雑誌」 YAを対象とした中で、人気のあるものなど。